

Beans

ビーンズ

公益財団法人 いばらき腎臓財団発行 健康情報紙ビーンズ

2023

秋

a・k・i

Free

年2回発行 健康情報紙



p.2 巻頭言

p.3 腎移植担当医からのメッセージ

p.4 令和4年度 賛助会員一覧、寄付者一覧

本広報紙に関する「ご意見」「ご希望」「ご感想」をお待ちしております。

お便りを下さった方には、粗品を差し上げます。

お便りをお待ちしております。

当財団の情報は HPをご覧ください。

<https://www.iba-jinzou.com>

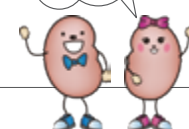
また、お問い合わせ Eメールは

infoiba@iba-jinzou.comです。

ご協力
お願い致します!

いばらき腎臓財団

検索



巻頭言



山 縣 邦 弘

公益財団法人いばらき腎臓財団 理事長
筑波大学医学医療系腎臓内科学 教授

2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染
症法上の類計が「2類相当」から「5類」に移行しました。そ
れに伴い、これまで実施されてきた対策の多くが簡素化あ
るいは終了し、コロナが落ち着くかのような印象を持たれた
方も多いかと思えます。

しかしながら、5類への変更後も新型コロナウイルスの新規感染者
は全国で徐々に増えており、この原稿を書いている8月下旬
現在も連日、熱中症警戒アラートが発せられるような猛暑
が続いているにも関わらず、電車や商業施設等といった公共
の場では未だ半数以上の方がマスクを着用しており、以前の
感染症対策からの開放感とともに、警戒感の継続も見受け
られます。いばらき腎臓財団でも、ここ数年は様々な形で活
動が制限されてきました。特に慢性腎臓病（CKD）予防の
普及、啓発に欠かせないCKD予防出前講座や臓器移植を
前提とした命のバトンといわれる臓器提供普及啓発活動な
どの市民公開講座の開催です。未だ前述の如く、新型コロナ
感染症の再流行の兆しが見え隠れする状況で手探りなが
ら、従来から行ってきた活動を本格的に再開することを念
頭に活動してまいります。

さて皆様は「腎臓リハビリテーショ
ン」という言葉をご存知でしょう
か？リハビリテーションという言葉
はもともと、ラテン語の**re**（再び）と
habilis（人間らしい、びきる）が語源
ですが、一般に障害者に対する機



能回復、能力向上、社会復
帰と認識されていると思いま
す。しかし私たちが取り組
んでいる腎臓リハビリテーショ
ンは、CKD患者さんから透
析患者、腎移植後の患者さ
んを含めた全ての腎臓疾患
患者さんの運動療法、食事
療法と水分管理、薬物療

法、教育、精神・心理的サポートなどを行うプログラムとし
て実践しております。近年では患者さん達の高齢化、また
加齢によって腎機能の低下を生じ、CKDに至る患者が急増
しております。以前は腎疾患患者さんには、なるべく無理
をせず安静にすることが勧められていました。しかし、最近
の研究結果では、積極的に運動をすることが様々な利点があ
ることが明らかになってきております。有酸素運動や筋ト
レを実施することで転倒防止に役立つだけでなく、腎機能
の悪化を抑制し、生活の質も改善させることが分かってくま
した。全ての腎疾患患者さんが安心、安定した生活を営め
るように、従来の個別疾患の薬物治療だけでなく、生活習
慣の改善、精神的、心理的課題を含めた腎疾患患者さんの
総合的な治療を考え、実践し、社会復帰、社会活動を円滑
に行っていくことの手助けをすることが腎臓リハビリテーショ
ンです。多くの皆様にこのようなリハビリテーションの形があ
ることをご理解いただき、ご協力いただければと思います。



腎移植担当医からのメッセージ



現在、日本では約1万4千人の末期腎不全

の患者が腎臓移植を待っています。ただし、これだけ多くの待機患者の中で、実際に移植を受けられる末期腎不全の患者は年間150〜200人程度と非常に少なく、残念ながら多くの患者は腎移植を待機している間に亡くなっています。近年、社会のさまざまな場所でも臓器提供の話題が取り上げられるようになり、臓器提供への意識が社会に浸透し、臓器提供数が少しずつ増加してきました。今後も臓器提供に対する社会の理解が益々進み、一人でも多くの臓器機能不全の方々を救える時代の到来を切に願っております。

移植内科医の役割



移植内科医は腎移植前の準備期間の過ごし方の指導や腎移植手術前後の透析療法を担当しています。さらに、腎移植後の安定した時

期の外来通院での診療を行い、移植した腎臓の機能が長기에安定するようにサポートしていきます。腎移植が盛んであるアメリカ合衆国では、移植外科医より移植内科医の人数の方が多いと言われていますが日本ではまだまだ移植内科医は少ない状況です。今後、日本の腎移植数が増加することを想定し、移植外科医だけではなく、移植内科医の育成が望まれています。

腎移植待機患者の準備期間の過ごし方



末期腎不全では心血管病を中心に多くの合併症が出現することが知られています。腎移植を待機している患者は、心血管病を中心とする多くの合併症を腎移植手術が実施可能な状態に安定させておくことが必要となります。心血管病以外に、がん、感染症は、日々の

診療や検診受診などにより早期に発見するよう努め、対処しておきましょう。透析治療が長期化した際に出現する副甲状腺機能亢進症がある場合には、腎移植の準備として外科的処置を検討する場合もあります。透析治療を受けている医療機関の主治医やスタッフとともに日々の管理が大切であり、腎移植待機患者であることを患者・医療スタッフのみならず共有し準備期間をお過ごしください。



文責：筑波大学医学医療系腎臓内科学

准教授 白井 丈一

令和4年度 賛助会員一覧 ご支援ありがとうございます。

医療法人青藍会 大場内科クリニック	株式会社トップ下妻工場	関彰商事株式会社	山縣 邦弘
医療法人社団茨腎会 太田ネフロクリニック	総合病院水戸協同病院	協和キリン株式会社	医療法人愛正会 田尻ヶ丘病院
社会医療法人若竹会 つくばセントラル病院	医療法人盡誠会 宮本病院	テルモ株式会社	小野薬品工業株式会社
医療法人社団興明会 つくば腎クリニック	医療法人五合会 常陸クリニック	常陽銀行 研究学園都市支店	湯沢 賢治
医療法人 住吉クリニック	医療法人青洲会 神立病院	タイヘイ薬品株式会社	一般社団法人 茨城県病院薬剤師会
筑波大学附属病院	一般社団法人茨城県医師会	ゼリア新薬工業株式会社	医療法人社団健栄会 守谷駅前クリニック
医療法人社団明厚会 大石内科クリニック	筑波麓仁会 筑波学園病院	医療法人秀仁会 川島クリニック	寺崎 太郎（寺崎クリニック）
島田 忍（ウイング眼科）	キュービー株式会社 ファインケミカル本部五霞工場	医療法人デーデーシー 川井クリニック	宮崎 三弘（宮崎クリニック）
医療法人虹嶺会 土浦ベリルクリニック	医療法人山口クリニック	医療法人虹の会 にへいなかよしクリニック	川島 房宣（川島医院）
医療法人徳洲会 古河総合病院	公益社団法人茨城県薬剤師会	地方独立行政法人茨城県西部医療機構 茨城県西部メディカルセンター	小林 敏郎（小林医院）
医療法人博友会 菊池内科クリニック	医療法人社団プラスワン 緑野クリニック	国立病院機構霞ヶ浦医療センター	石川 悟（石川クリニック）
医療法人社団善仁会 小山記念病院	社会医療法人財団古宿会 水戸中央病院	医療法人博仁会 志村大宮病院	松倉 則夫（松倉中央クリニック）
茨城西南医療センター病院	かもめ・大津港クリニック	医療法人鴻仁会 上の原病院	山形 文子（やまがた内科医院）
公益財団法人 筑波メディカルセンター	株式会社日立製作所 日立総合病院	医療法人社団啓聖会 鳥越クリニック	石川 晶久 （医療法人啓聖会 石川内科ファミリークリニック）
水戸赤十字病院	極東製薬工業株式会社	株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院	山木 万里郎 （やまき内科クリニック）
医療法人水清会 つくば学園クリニック	独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター	医療法人一樹 筑西腎クリニック	坪 正紀（縦山診療所）
医療法人医仁会 渡邊クリニック	総合病院土浦協同病院	中嶋メディカルサプライ株式会社	石塚 源造（石塚医院）
扶桑薬品工業株式会社 茨城工場	医療法人真正会 水海道さくら病院	医療法人社団常仁会 牛久愛和総合病院	戸井田 和之
医療法人愛和会 前田病院	東北医療センター高萩協同病院	医療法人社団成美会 トモスミとクリニック	飯田医院
JA とりで総合医療センター	東京医科大学茨城医療センター	公益財団法人ときわ会	一般社団法人 茨城県臨床工学技士会
公益財団法人 茨城県総合健診協会	医療法人祥仁会 十王ひがし野クリニック	特定非営利活動法人 日本移植支援協会	非公開 10 件
医療法人健清会 那珂クリニック	茨城県生活協同組合連合会	かもめ・日立クリニック	

令和5年3月31日現在（順不同・敬称略）

令和4年度 寄付者一覧 ご協力ありがとうございました。

医療法人医仁会 渡邊クリニック	医療法人社団豊清会 ときわクリニック	茨城県腎臓病患者連絡協議会	角田克博（つくばシティアピル皮フ科）
渡辺 文代（渡辺内科）	茨城県医薬品卸業組合	十王ひがし野クリニック	中外製薬株式会社
医療法人社団医弘会 かわしま内科クリニック	メディキット株式会社 那珂	公益社団法人茨城県獣医師会	石川 和明（石川クリニック）
医療法人鴻仁会 上の原病院	医療法人健清会 那珂クリニック	公益社団法人茨城県歯科医師会	医療法人憐仁会 つちだ内科・泌尿器科クリニック
医療法人博友会 菊池内科クリニック	茨城県行政薬剤師会	那珂記念MITOクリニック	鈴木 裕明
医療法人社団明厚会 大石内科クリニック	ニプロ株式会社	加藤 徹（菊山医院）	非公開 4件
		医療法人社団そよご会 長山隆志（長山皮膚科医院）	令和5年3月31日現在（順不同・敬称略）

賛助会員・寄付金募集要項

当財団は、税額控除対象法人です。これにより、当財団に対する個人・法人の寄附（賛助会費も同様）については、確定申告の際、上記「税額控除」と従来の「所得控除」のいずれか一方を選択ができるようになり優遇税制を受けられます。また、ご要望いただきました賛助会員様の従業員を対象とした茨城県の臓器移植の現状、健康維持啓発のための講習会を無料にて実施させていただきます。

賛助会員

【賛助会費】
1口 10,000円
法人賛助会費 5口以上
個人賛助会費 1口以上

寄付金

【寄付金額】
法人、個人金額は問いません。
寄付していただける金額を申し込み用紙にご記載下さい。

お申し込み方法

いばらき腎臓財団HPより「賛助会員・寄付金申込書」をプリントしていただき、事務局宛へ、FAXもしくは郵送にてお送り下さい。
<https://www.iba-jinzou.com/sanjyo>

銀行振込先

銀行名 常陽銀行
支店名 研究学園都市支店
口座 普通 3451628
口座名義 公益財団法人
いばらき腎臓財団



お問い合わせ・ご質問等ございましたら、お気軽に事務局までお申し出ください。

お問い合わせ先 公益財団法人いばらき腎臓財団 infoiba@iba-jinzou.com